

ヒューマンエラーは撲滅できる！
具体的な退治方法を伝授します



ヒューマンエラー防止対策セミナー



日 時 : 令和 4年 2月 9日(水) 10:00 ~ 17:00 (1日間コース)

* 当日の入室および受付は、9:45からとなります。

* 受講された方には修了証をお渡しいたします。

場 所 : 大阪産業創造館

定 員 : 15名(定員になり次第締切らせていただきます)

申込締切日 : 令和 4年 2月 1日(火)

参加費 : 1名につき 15,000円 (会員企業 10,000円)

※研修会当日に請求書をお渡ししますので、期日までにお支払いください。

※昼食は各自でご準備いただくか、周辺の施設をご利用ください。

主 催 大 阪 府 品 質 管 理 協 会

本コースのねらい



「モノづくりには人づくり」が重要です。そのために各企業では課題意識や改善意識を醸成する賢明な活動を続けているかと思います。しかしながら、効率的な成果活動までに至っていないのが現実ではないでしょうか。

特に、ヒューマンエラーに関する問題はなかなか根絶できず、発生したミスの再発防止策までたどり着いていないと思います。この原因は問題のとらえ方と対策の打ち方が誤っているからです。

ちょっとしたミスが原因で膨大な品質ロス金額や大事故につながるケースもあり、いくら注意してもミスが出てくるという悩みを持つ職場監督者やリーダーが、依然として多いかと思います。

本コースはそのような課題を持つ方々に対し、課題解決の方法を提示する研修会です。

是非、ご参加下さい。

※注 「モノづくり」とは、単なるハード商品の開発・製造事業にとどまらずソフト開発などのIT事業やサービス業も含む広義の意味

本コースのポイント



- ① 「モノづくりは人づくり」が重要。特に「人」に対する重要な課題に「ヒューマンエラー」あり。
- ② ヒューマンエラー(人為ミス)ゼロの達成は究極の目標。
なぜならばヒューマンエラーはいつでも、誰にでも起こす可能性あり。
- ③ ちょっとしたミスで大事故や膨大な品質ロス金額が発生した事例は過去に多く散見される。
この為にも、ヒューマンエラーを限りなく「0」に近づける必要性があり。
- ④ ヒューマンエラー発生の原因を数パターンに区分して提示。ヒューマンエラーに対する取組方の見える化(具体化)を目指す。(改善の方向性を明確化)
- ⑤ ヒューマンエラーの発生原因は発生させた個人に起因する度合より会社全体の責任が大きい。会社の風土改革としてとらえる必要あり。
- ⑥ ヒューマンエラーの発生原因や根本対策を見出す方法として、「ポカミス改善事例」や「なぜなぜ分析手法」等を活用する。
- ⑦ 職場監督者やリーダーを対象とし、できるだけ具体的な事例で「問題のとらえ方」や「再発防止を目指した根本対策」を提示する。
- ⑧ 事例は事業形態の特徴を考慮し、よく発生する不具合を基に提示する。
例えば 組立製造事業では「異品・異種混入ミス」、「部品の逆付け」、「部品の取付忘れ」等
NC 旋盤等の精密加工事業では「入力誤りによる加工不良」、「段取替え間違い」等
サービス業やソフト開発などのIT 事業では「数字の見間違い」、「データ入力ミス」等

＝タイムスケジュール＝ ヒューマンエラーをなくす

No	時間	内容	詳細
1	10:00～10:15	ガイダンス	導入
2	10:15～11:40	第1部 ・ヒューマンエラーは何故起こる？	・ヒューマンエラーを12のパターンに分類 ・エラー発生の変因を学ぶ
	11:40～12:30	昼食休憩	
3	12:30～15:45	第2部 ① ヒューマンエラー発生と具体的な対策事例紹介	・ヒューマンエラーの具体的な事例と対応事例紹介
		② ヒューマンエラー防止の具体的な手法の活用	・なぜなぜ分析を活用してヒューマンエラー発生の原因究明
	15:45～16:00	休憩	
4	16:00～16:50	演習 テーマ 製品業事例、製造事例、サービス業事例	・個人演習と発表 ・相互研鑽
	16:50～17:00	終講式	

※ 上記の時間はあくまで予定であり、進捗状況で多少変更もあります。

講師

松村コンサルティング・MIC代表

松村 弥寿治

《プロフィール》

松下電器産業(現パナソニック)において、品質管理、生産技術、製造、生産管理、営業部門を歴任。その間、事業場品質行政、品質システム構築、設計評価、部品、製品評価、完成品共栄会社、購買先指導など品質管理実践指導に従事。

JRCA 品質マネジメントシステム エキスパート審査員

松本 クオリティ クリエイト オフィス (MQCO)

松本 孝一

《プロフィール》

松下電器産業(現パナソニック)において、工場・事業部部門、分社品質管理部門そして本社品質本部などで、一貫して品質管理活動を担当。

定年退職後は中小企業を中心に品質管理コンサルタント活動を推進。現在に至る。

QMS 審査員補 (品質マネジメントシステム審査員) JIS Q 9001 : 2015

《参加申込み方法》

参加申込み

1. 下記の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送またはファックスでお送り下さい。
(ファックスで申込みされた場合は、原本の郵送は不要です。)
2. 申込締切日 令和 4年2月1日(火)

研修場所

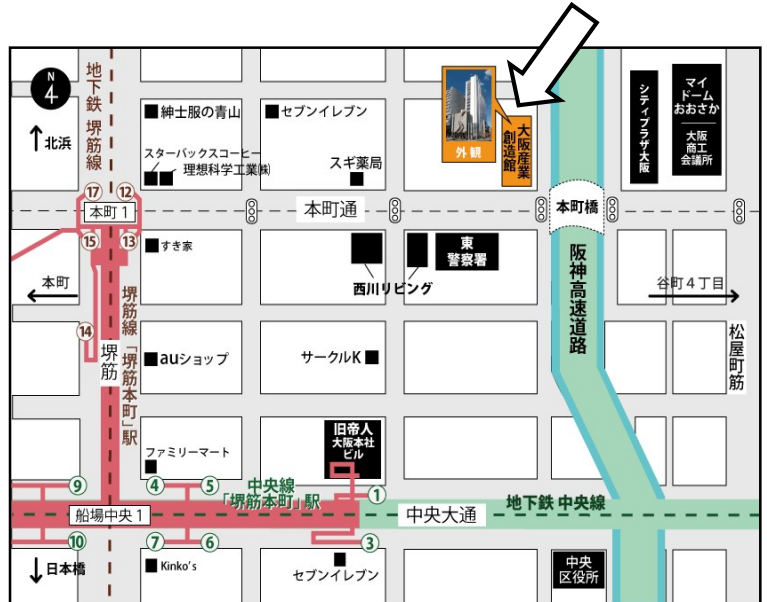
大阪産業創造館 5F-研修室 E

〒541-0053

大阪市中央区本町 1-4-5

TEL 06-6264-9800

- ・地下鉄堺筋線 堺筋本町駅
12番出口より徒歩 約5分
- ・地下鉄中央線 堺筋本町駅
1番出口より徒歩 約5分



ヒューマンエラー防止対策セミナー参加申込書

大阪府品質管理協会 宛

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか6階

FAX 06-4792-7897

所在地 〒

会社名

業 種

TEL ()

FAX ()

メールアドレス

申込責任者

申込者所属

注) 所属・役職名は必ず記入して下さい。

No	フリ 氏 名	ガナ 名	年 齢	所 属 ・ 役 職
1				
2				
3				
4				
5				